

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童全員を安全に見守ることができるように1F、2Fに分かれて活動場所や職員を配置し、活動スペースを広くしている。	必要に応じて職員全体でクールダウンや騒音への配慮を行い、利用児童が安心安全な環境づくりに取り組んでいる。	子どもたち一人ひとりに合った玩具や環境設定を行い、事業所が楽しいと思ってもらえるように職員全員で話し合い、働きがけていく。
2	子どもたち個々に合わせた課題や専門的な支援を行い、職員全体で共通認識の元、取り組んでいる。	利用人数、子供たちの状態に合わせて職員の負担がかからないように人員配置している。	子どもたちそれぞれの課題に着目し、月2回のミーティングで意見を出し合い、共通認識を図る。また色々な視点で見ることで多方面からアプローチをし、個々の成長に繋げていく。
3	様々なレクリエーション活動を展開し、社会性や協調性を身につけることができる。	レクリエーション活動の内容が偏ったり、固定されないように月2回ミーティングを行い、話し合いをする中で子どもたちが楽しめる場所・内容を計画している。	SNS等を使い、新しい場所を定期的に模索しながら挑戦していく。 他事業所と連携を図り、良い場所は共有し、色々な経験を積み上げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1つのフロアのスペースが狭く、活動内容が限られてしまう。 また子どもの人数に応じて人員配置を考える必要がある為、手薄になってしまう時がある。	一軒家(賃貸物件利用)である為、フロアが分かれてしまっている。 体調不良などの休みもあり、人員不足になってしまう。	利用人数や個々の特性をしっかり把握し、死角となる部分に職員を配置する。 職員一人ひとりのスキルアップができるように育成を行う。
2	一軒家の為、扉や死角が多く、バリアフリー化が難しい。	賃貸物件利用のため、バリアフリーへの設備工事ができない。	可能な限りのバリアフリー化を行い、定期的に事業所内の安全確認を行う中で修理、改善に努める。
3	関係連携機関とのやりとりがしっかりできていない時があり、正しい情報が入ってこない。	特定の人が行ってしまっているため、休みの時に対応できない。 報連相が確実に行えていない。	全職員で対応できるように作業の分担化を行う。また報連相がしやすいような環境づくりをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 北風と太陽 (児童発達支援)

公表日 2025年2月17日

利用児童数 2025年 2月 17日 時点 1名

回収数

1名 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2025年2月17日
事業所名		公表日					2025年2月17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用児全員を安全に見守ることができるように1F・2Fに分かれて職員を配置し、活動スペースが広くなるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		利用人数、子どもたちの状態に合わせて職員の負担がかからないように配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	部屋ごとに目的意識を持たせる工夫をしている。 階段に落下防止ネットを設置したり、けが防止のために机の角にクッションをつけている。	賃貸物件利用のため、バリアフリーへの設備工事が難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃し、定期的に玩具の消毒を行っている。 また活動によって家具の配置を変えてレクリエーションなどを行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて職員全体でクールダウンが必要な場合や周りの音が気になる子への配慮を行い、見守りを行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月に2回全体でミーティングを実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表を配布し、支援の質の向上に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に2回ミーティングを実施し、毎朝ミーティングをする中で意見を交換し、改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	他店舗の管理者同士で、定期的にミーティングを行い、改善点を話し合っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的開催される外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	定期的に保護者面談を行い、それぞれのニーズや課題を確認している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		月に2回ミーティングを実施し、意見交換し合う中で改善策を見出し、共通認識に繋げている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		月に2回ミーティングを行い、個別支援計画書に記載された達成目標や支援内容を確認し、情報を共有している。支援計画の見直しを行い、発達に応じた支援内容に改善している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		毎朝ミーティングを実施している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月に2回ミーティングを行い、スタッフ全員で検討し、最終的なプログラムを決定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		月に2回ミーティングを行い、発達段階や季節感、ねらいなどを考慮し、活動内容が重ならないように工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		作成に当たっては、ひと月のなかには個別活動と集団活動をバランスよく取り入れ、集団活動に参加が難しい児童に対しては小集団活動から始めるなど工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝ミーティングを実施し、保護者からの伝達や最近の様子などを報告する申し送りの時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		打ち合わせの時間を設けているわけではないが、報告事項や悩み事等あれば、スタッフ間で情報共有している。大きな問題や連絡事項はミーティングにて報告し、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		子どもたちの利用時の様子は必ず記録し、月2回のミーティングや毎朝のミーティングで共有し、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報を共有と相互理解を図っているか。	6		併行利用や移行時は担当者会議を開き、情報共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1	定期的に開催される外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今年は連携が取れていなかった。今後、少しでも交流の場を設け、刺激を受けられるように努力・検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に保護者に声をかけをし、必要に応じて、相談員の方にも共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	定期的に保護者面談を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に必ず伝えて、保護者と一緒に確認を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	定期的に保護者面談を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		モニタリングや支援計画書を説明し、保護者に確認を取り、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		毎日の送迎時に保護者に声かけをし、話しやすい雰囲気を作れるように努めている。	
					また定期的に保護者面談を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		日々保護者からの連絡には、迅速に対応している。また保護者からの直接的な相談がなくても、送迎時に些細な変化を確認し、スタッフ同士で共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1回通信を発行し、SNSを活用し活動内容や様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションを取り、自分が行ったコミュニケーション内容をスタッフ間で共有し、日々改善に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		緊急時対応のマニュアルを個別で作成しており、ファイリングしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月避難訓練の実施し、避難場所の確認を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		服薬同意書を配布し、確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギー等に関しては契約時にアセスメントを行い、職員間で共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		月に2回ミーティングの中でそれぞれ発表を行い、スタッフ全員で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童全員を安全に見守ることができるように1F、2Fに分かれて活動場所や職員を配置し、活動スペースを広くしている。	必要に応じて職員全体でクールダウンや騒音への配慮を行い、利用児童が安心安全な環境づくりに取り組んでいる。	子どもたち一人ひとりに合った玩具や環境設定を行い、事業所が楽しいと思ってもらえるように職員全員で話し合い、働きがけていく。
2	子どもたち個々に合わせた課題や専門的な支援を行い、職員全体で共通認識の元、取り組んでいる。	利用人数、子供たちの状態に合わせて職員の負担がかからないように人員配置している。	子どもたちそれぞれの課題に着目し、月2回のミーティングで意見を出し合い、共通認識を図る。また色々な視点で見ることで多方面からアプローチをし、個々の成長に繋げていく。
3	様々なレクリエーション活動を展開し、社会性や協調性を身につけることができる。	レクリエーション活動の内容が偏ったり、固定されないように月2回ミーティングを行い、話し合いをする中で子どもたちが楽しめる場所・内容を計画している。	SNS等を使い、新しい場所を定期的に模索しながら挑戦していく。 他事業所と連携を図り、良い場所は共有し、色々な経験を積み上げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1つのフロアのスペースが狭く、活動内容が限られてしまう。 また子どもの人数に応じて人員配置を考える必要がある為、手薄になってしまう時がある。	一軒家（賃貸物件利用）である為、フロアが分かれてしまっている。 体調不良などの休みもあり、人員不足になってしまう。	利用人数や個々の特性をしっかり把握し、死角となる部分に職員を配置する。 職員一人ひとりのスキルアップができるように育成を行う。
2	一軒家の為、扉や死角が多く、バリアフリー化が難しい。	賃貸物件利用のため、バリアフリーへの設備工事ができない。	可能な限りのバリアフリー化を行い、定期的に事業所内の安全確認を行う中で修理、改善に努める。
3	関係連携機関とのやりとりがしっかりできていない時があり、正しい情報が入ってこない。	特定の人が行ってしまうため、休みの時に対応ができない。 報連相が確実に行えていない。	全職員で対応できるように作業の分担化を行う。また報連相がしやすいような環境づくりをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年2月17日						
		利用児童数		2025年 2月17日 時点21名		回収数		21名 100%
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		8		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			8		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1		2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			4		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1		3	毎月様々な活動を取り入れてくれているので、とても満足している。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			1	普段なかなか行けない見学や体験ができたり、行季節に合った行事など 色々な体験をさせてもらっている。	今後継続して月に2回ミーティングを行い、発達段階や季節感、ねらいなどを考慮し、活動内容が重ならないように工夫していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	4	4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	3	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	4		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8	7	3	3	イベントに参加できていないため、どういう感じになっているかわからないが、機会は設けられている。	イベントが開催できるように計画をして保護者同士の交流の機会が増えるように働きかけていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	1	2		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月17日				
放課後等デイサービス 北風と太陽						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用児全員を安全に見守ることができるように1F・2Fに分かれて職員を配置し、活動スペースが広がるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		利用人数、子供たちの状態に合わせて職員の負担がかからないように配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	部屋ごとに目的意識を持たせる工夫をしている。 階段に落下防止ネットを設置したり、けが防止のために机の角にクッションをつけている。	賃貸物件利用のため、バリアフリーへの設備工事が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃し、定期的に玩具の消毒を行っている。 また活動によって家具の配置を変えてレクリエーションなどを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて職員全体でクールダウンが必要な場合や周りの音が気になる子への配慮を行い、見守りを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		月に2回全体でミーティングを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表を配布し、支援の質の向上に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に2回ミーティングを実施し、毎朝ミーティングをすす中で意見を交換し、改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	他店舗の管理者同士で、定期的にミーティングを行い、改善点を話し合っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に関催される外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	定期的に保護者面談を行い、それぞれのニーズや課題を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		月に2回ミーティングを実施し、意見交換し合う中で改善策を見出し、共通認識に繋げている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		月に2回ミーティングを行い、個別支援計画書に記載された達成目標や支援内容を確認し、情報を共有している。支援計画の見直しを行い、発達に応じた支援内容に改善している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		毎朝ミーティングを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月に2回ミーティングを行い、スタッフ全員で検討し、最終的なプログラムを決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		月に2回ミーティングを行い、発達段階や季節感、ねらいなどを考慮し、活動内容が重ならないように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		作成に当たっては、ひと月のなかに個別活動と集団活動をバランスよく取り入れ、集団活動に参加が難しい児童に対しては小集団活動から始めるなど工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝ミーティングを実施し、保護者からの伝達や最近の様子などを報告する申し送りの時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		打ち合わせの時間を設けているわけではないが、報告事項や悩み事等あれば、スタッフ間で情報共有している。大きな問題や連絡事項はミーティングにて報告し、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		子どもたちの利用時の様子は必ず記録し、月2回のミーティングや毎朝のミーティングで共有し、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		毎月利用予定表をFAXしたり、子どもたちの様子が気になった際は連絡を取り合い、家庭状況なども含め、情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	定期的に開催される外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		今年は連携が取れていなかった。今後、少しでも交流の場を設け、刺激を受けられるように努力・検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に保護者に声をかけをし、必要に応じて、相談員の方にも共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	定期的に保護者面談を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に必ず伝えて、保護者と一緒に確認を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的に保護者面談を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		モニタリングや支援計画書を説明し、保護者に確認を取り、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		毎日の送迎時に保護者に声かけをし、話しやすい雰囲気を作るように努めている。また定期的に保護者面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		日々保護者からの連絡には、迅速に対応している。また保護者からの直接的な相談がなくても、送迎時に些細な変化を確認し、スタッフ同士で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1回通信を発行し、SNSを活用し活動内容や様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションを取り、自分が行ったコミュニケーション内容をスタッフ間で共有し、日々改善に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		緊急時対応のマニュアルを個別で作成しており、ファイリングしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月避難訓練の実施し、避難場所の確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		服薬同意書を配布し、確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギー等に関しては契約時にアセスメントを行い、職員間で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		月に2回ミーティングの中でそれぞれ発表を行い、スタッフ全員で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部での研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			2	送迎時に、その日にやる事、やってきた事の説明が適切に行われている。連絡、報告などしっかりやってくれていると思う。	今後も継続して毎日の送迎時に保護者に声をかけをし、話しやすい雰囲気を作れるように努めていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			4	災害発生時、どこに迎えにいけばいいかわからない。	訓練を実施した連絡や報告書をもとに実際にやった時の状況説明なを確実に行い、再確認をしていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			帰宅後はいつも満足そうに話をしてくれることが増えた。会話が增えたり、表情が柔らかくなり、できることも増えてきている。	子どもたちの様子をしっかりと共有し、保護者も子どもも安心して通所してもらえるように信頼関係を大切にしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1				